

公開レポート

企業報告書におけるサステナビリティコンテキスト対応
～社会課題をどう捉えるか～



2016年11月

株式会社アイデアシップ / ideaship

目次



調査概要	2
社会課題へのアプローチ度 分類	3
社会課題へのアプローチ度 事例	4
社会課題へのアプローチ度	8
社会課題へのアプローチ度 業種別ランキング	9
社会課題へのアプローチページ	10
社会課題ランキング 分野別	11
社会課題ランキング 全体	12
対象企業一覧	13

調査概要

- 調査目的: CSRの取り組みが評価されている企業のCSR報告書を中心に、サステナビリティコンテキストに関する対応を比較し、そのトレンドを探ることを目的としています。
- 調査手法: 対象となるCSR報告書のサステナビリティコンテキストに関わる部分を分析、定量的または定性的に比較調査を行いました。
- 調査対象: 第9回 東京経済新聞社 CSRランキング(2015)の上位30社の企業報告書(2015年度版報告書が未発行だった企業については2014年度版を対象とします。)
- 調査期間: 2015年10月～2016年7月

※サステナビリティコンテキストとは、「自社のパフォーマンスを環境や社会資源の制限や需要といったコンテキストの中で示すべきである」、というサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン(G4)の原則です。

※サステナビリティコンテキストが持つ要素は多岐にわたりますが、今回のレポートでは『社会課題へのアプローチ』について注目しています。

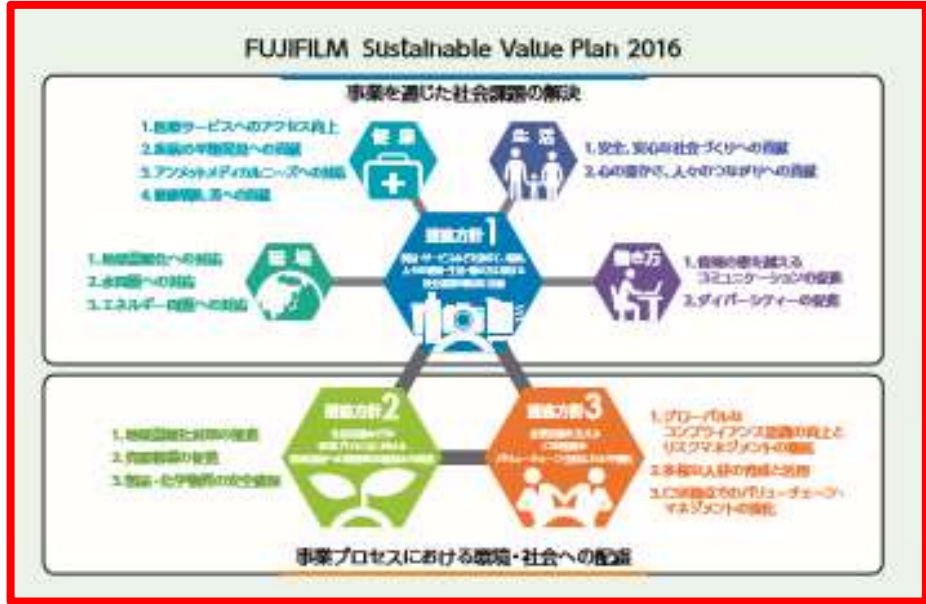
※ここでいう企業報告書とは、CSR報告書、サステナビリティ報告書、統合報告書、アニュアルレポート、CSRブックなど、企業報告に関するレポートを指します。(CSR系報告書がない場合は統合報告書、アニュアルレポートを対象とします。)

社会課題へのアプローチ度 - 分類

- 調査対象としたレポートを、社会課題へのアプローチ度(取り上げ方の深さの度合い)という視点で分類してみました。

アプローチ度	内容		企業例
高	社会課題を体系的に紹介 + 取り組みなど紹介	一覧や図表を使って体系的に社会課題を紹介し、その後の特集や各コンテンツページで社会課題に対する取り組みなどを紹介している。	富士フイルムホールディングス、富士ゼロックス、日産自動車、キヤノン など
中	社会課題を体系的に紹介	一覧や図表を使って体系的に社会課題を紹介している。	NTTドコモ、アサヒグループホールディングス
低	文中で触れる程度	トップコミットメントやその他文中において社会課題について言及している。	デンソー、コマツ、トヨタ自動車、ブリヂストン、リコーなど
	記載なし	—	武田製薬工業

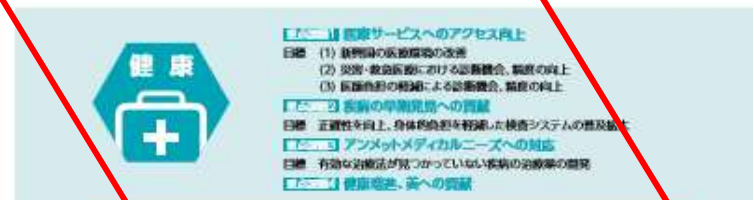
事例①：富士フイルムホールディングス



社会課題の背景をデータを用いてしっかりと説明。

社会課題に対する自社の関連事業分野を紹介。

製品・サービスなどを通じて、環境、人々の健康・生活・働き方に関する社会課題の解決に貢献



取り組むべき社会課題を図にまとめ紹介している。



Sustainable Value Plan2016では、富士フイルムグループのCSRの考え方である「事業活動を通じて企業理念を実現することにより、社会の持続可能な発展に貢献すること」を具現化するために、「健康」「生活」「環境」「働き方」の4つを重点分野に定め、革新的な技術・製品・サービスを通じて11項目の社会課題の解決に取り組んでいます。

今後の活動の進め方まで丁寧に記載している。

【健康】は人々にとって最も関心が強く、重要なテーマですが、医療の効率、医療不足、医療負担の軽減、医療費の高騰など、様々な課題があります。富士フイルムグループは、標準的な1000年からレントゲンフィルムへの置き換えをはじめ、近年、新領域でも貢献してまいりました。近年、「予防」「治療」への領域も拡大。当社グループの成長戦略の一つとして「人々の健康」分野での貢献の幅を広げることに取り組んでいます。今後の計画決定にあたっては、当社グループの持つ技術、製品、サービスを駆使し、社会課題解決に向けた貢献の可能性の大きさを4つの課題を設定しました。

2014年度の活動

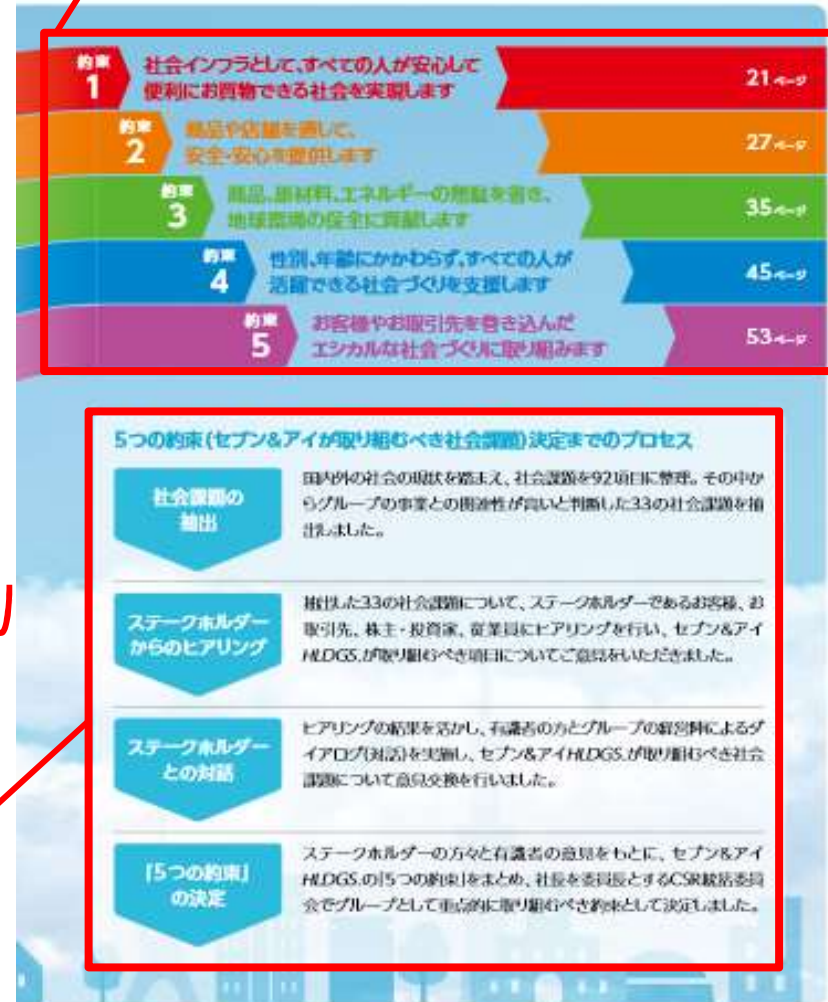
富士フイルムグループでは近年、トータルヘルスケア・カンパニーを目指し、消費者の健康意識の高まり、MSAなど、最先端医療技術を開発してきました。メディカルシステムにおいては、特に「診断」システムや、「予防医療」分野において市場から評価されています。また、全世界で最も急速に成長している市場から評価されています。2014年度は、特に「がん患者数」を減らすこと、がん患者の負担軽減などを実現しました。また、ヘルスケア分野の成長を加速させるべく、日本、西アジアに拠点を設け、医療従事者を中心とした世界展開を加速させていこうとする戦略を推進しています。

【ヘルスケア】ヘルスケア分野では、がん患者の負担軽減を目的とした「がん患者の負担軽減」を推進しています。がん患者の負担軽減を目的とした「がん患者の負担軽減」を推進しています。がん患者の負担軽減を目的とした「がん患者の負担軽減」を推進しています。

事例②：セブン&アイ ホールディングス



社会課題から抽出された取り組み事項がそのままレポート構成となっている。



自社を取り巻く社会課題全般を紹介。

社会課題から自社の取り組むべき項目を選定、「5つの約束」にまとめる流れを紹介。

中 事例①：NTTドコモ

NTTドコモグループ サステナビリティレポート2015										
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11
トップ メッセージ	経営 プロフィール	ドコモの 事業とCSR	マニフェスト	経営 サービス	社会貢献	人権	お取引先との 関係性	環境	社会貢献	CSR 情報源

ドコモのCSR

CSRへの考え方

事業活動を通じて、社会的課題を解決し、国や地域、世代を超えて、人々がより安心・安全かつ快適で豊かに暮らすことのできる社会の実現に貢献することがCSRであると考え、経営の最優先に位置づけています。ドコモにおけるCSRを戦略的CSR（ESV）と基盤的CSRの大きく2つに整理し、社会的課題の解決に向け取り組んでいます。戦略的CSRでは「新たな社会価値の創出」をテーマに、事業を通じてさまざまな社会的課題を解決することを目的としています。社会のメガトレンドを踏まえ、健康・医療、教育・学習、農業、地方創生などの分野を社会価値創造領域と定め、ドコモが持つICT技術、サービス、ネットワークにより、社会的課題の解決に貢献していきます。

また、戦略的CSRを最大限推進させるために、社内の仕組みを変化させることを基盤的CSRに位置づけています。基盤的CSRは、「お客様に貢献される企業体質の確立」をテーマに、社会インフラを担う企業として社会的責任を履行することを目的としています。ドコモは、事業を行う前提条件として社会的責任を果たさなくてはならないと考え、ISO26000の7つの中核主題をベースに、それぞれに該当する経営や方針を整理しつつ、事業活動に反映しています。

活動の推進にあたっては、お取引先とともに、株主・投資家、販売代理店（ドコモショップ）、お取引先、社員、地域社会など、多様なステークホルダーとの「対話」の機会を積極的に設けています。これらの機会を通して各ステークホルダーの抱えるドコモの基本的な考えや姿勢を伝えると同時に、積極的に関心分野に目を向け、CSRに関する取組みの改善につなげています。

「新CSRの考え方」について



- メガトレンド
- 少子高齢化
- 地球温暖化
- 安心・安全な社会の実現
- グローバル化の進展

メガトレンドとして社会課題を抽出している。以降のページでは特にこれらのメガトレンドについての取り組み紹介などはみられない。

低

事例①： コマツ

CSR重点分野 ①



生活を豊かにする

—社会が求める商品を提供する—

■ 具体的な取り組み

- インフラ整備と生活の向上に貢献する商品やサービスの提供
- イノベーションの活用による生産性/安全性向上・効率化・省エネルギー促進
- 商品の稼働現場と事業所における環境対応
- 商品のライフサイクルにおける環境負荷軽減
- 安全性の向上（お客さま、社会、社員、ビジネスパートナー）



2013年6月から市販導入したICTブルドーザー D61PG-23

Special Story

イノベーションとCSR

—スマートコンストラクション—

社会的な課題の解決と持続的な成長

現在、日本の土木・建設現場では、少子高齢化に起因する若年就業者数の低下や、熟練オペレーターの減少などによって、深刻な労働力不足に直面しています。このような社会構造に起因する問題に対処しつつ、より安全で、生産性、信頼性に優れ

た工事を、より低コストで実現する——。それがコマツが目指す「未来の現場」です。私たちは、このスマートな「未来の現場」をお客さまとともに作り出し、社会、お客さまとともに持続的な成長をしていくため、「スマートコンストラクション」をまず日本で開始しました。

コマツ

CSR重点分野ページ内で社会課題について触れている。

低 事例②： ダイキン工業

トップコミットメント

環境技術で社会貢献と事業成長を果たす—— そのめざすべき道を着実に歩んでいます

「空調」が抱える社会課題の解決に 技術力と人材力で貢献

ダイキングループは、主要事業の「空調」を通じて世界中の人々に豊かで効率的な暮らしを提供してきました。空調は健康で文化的な生活と経済の発展に欠かせない社会インフラです。一方、空調は多くのエネルギーを消費します。新興国などの経済発展に伴うエネルギー消費の増加をいかに抑制するかは人類の大きな課題です。当社グループは、温室効果ガス排出量削減による気候変動への影響緩和を最も注力すべき社会課題と認識しています。

2015年は、2020年以降の世界の気候変動・温暖化対策の大枠が決まる国際会議(COP21)が開催されます。世界が将来の気候変動をどの程度防げるかを決定づける非常に重要な年と考えます。当社グループは、企業の社会的責任の重点テーマとして「環境」「品質・CS」「人材」「社会貢献」の4つを掲げていますが、特に強みとする「技術力」と「人材力」をもって、気候変動という社会課題の解決と、人々の生活の発展に貢献します。

低温暖化冷媒R32を用いたコンは、2015年3月現在で販売していますが、エアに大きく貢献します。従がれる新興国を中心に、者と協働し、普及のためのを支援しました。

また、東南アジアでは、関する規制がますます強化するリスクをチャンスと捉え、当社の強みを活かし、それを合致した、省エネと快適・サービス・ソリューションのさらに生産工程での温室も、2005年度と比べて67目標に対して、2014年度に

新たな顧客価値を創造し、研究所「テクノロジー・イノベーション」を11月に開設します。空調もちろん、新規事業の探



2015年7月

ダイキン工業株式会社
代表取締役社長兼CEO

十河政則

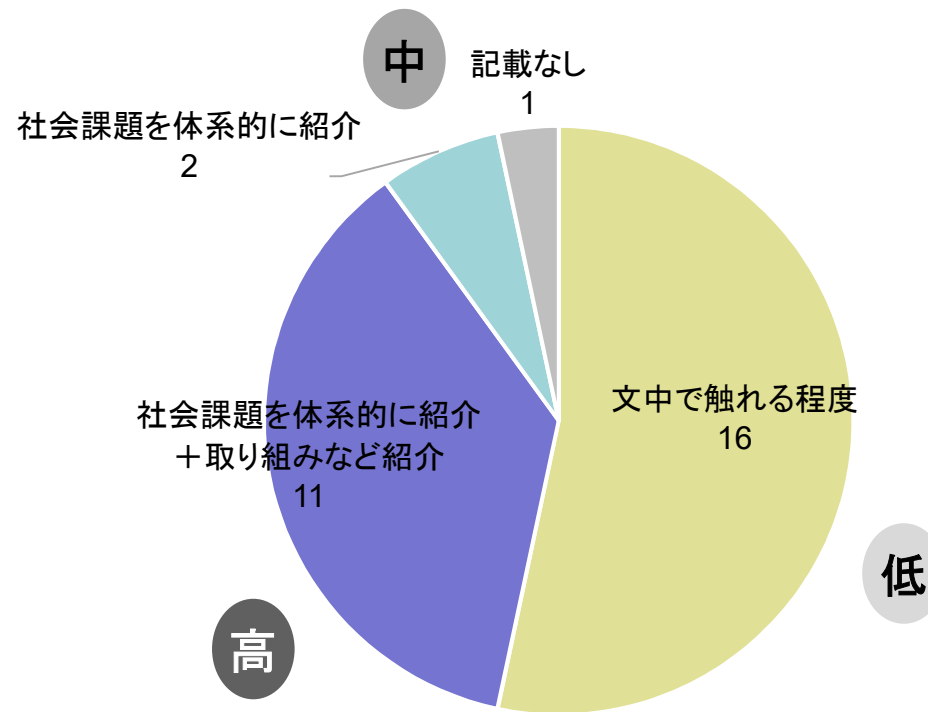
ダイキングループ CSR報告書 2015 8

ダイキン工業
トップコミットメントの文中で社会課題について触れている。

社会課題へのアプローチ度

- 各社の社会課題のアプローチ度は「文中で触れる程度(16社)」と「社会課題を体系的に紹介+取り組みなど紹介(11社)」に大きく分けられます。

社会課題へのアプローチ度 (N=30)SA

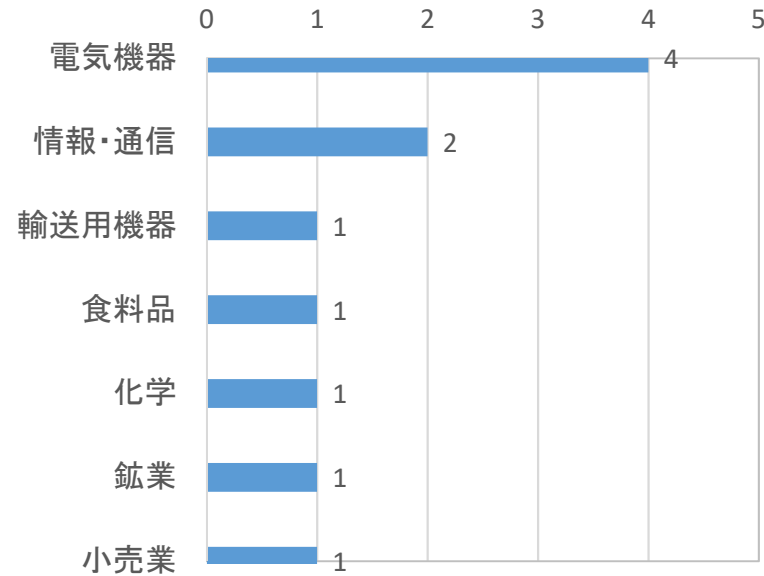


社会課題アプローチ度 業種別ランキング

- 「社会課題を体系的に紹介＋取り組みなど紹介」している企業のうち、4社が電気機器業でトップ。また、「文中で触れる程度」の企業では輸送用機器業4社が最も多く、次いで電気機器業が3社と多い。
- これより、電気機器業は総数が多く両パターンに分けられるが、輸送用機器業では社会課題について簡潔に扱う傾向が見られます。

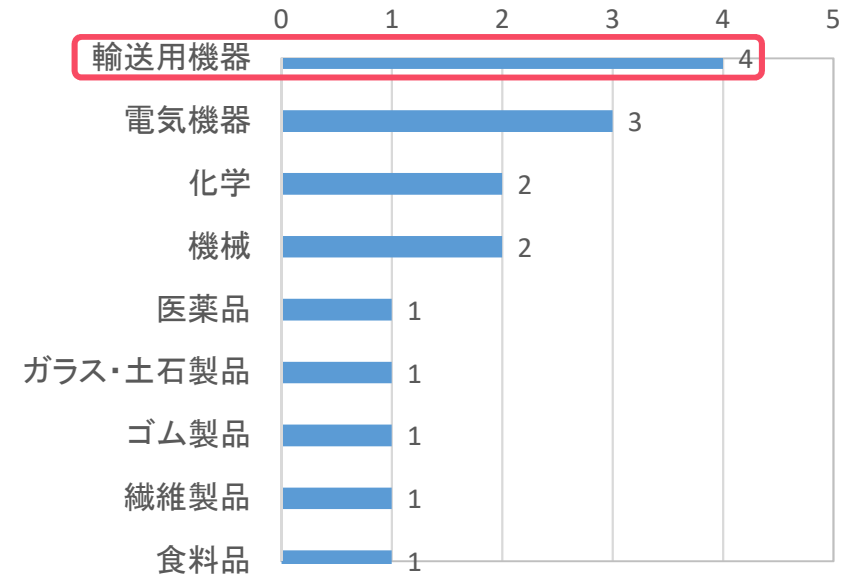
高

社会課題を体系的に紹介＋取り組みなど紹介 (n=11)SA



低

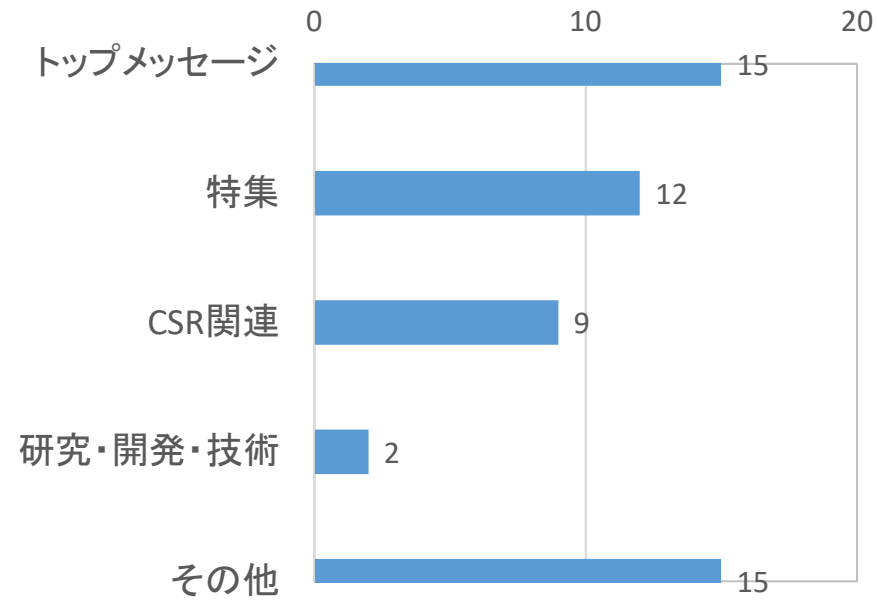
文中で触れる程度 (n=16)SA



社会課題 アプローチページ

- 社会課題を取り上げているページについて見てみると、「トップメッセージ(15社)」が最も多く、次いで「特集(12社)」、「CSR関連(9社)」となっています。

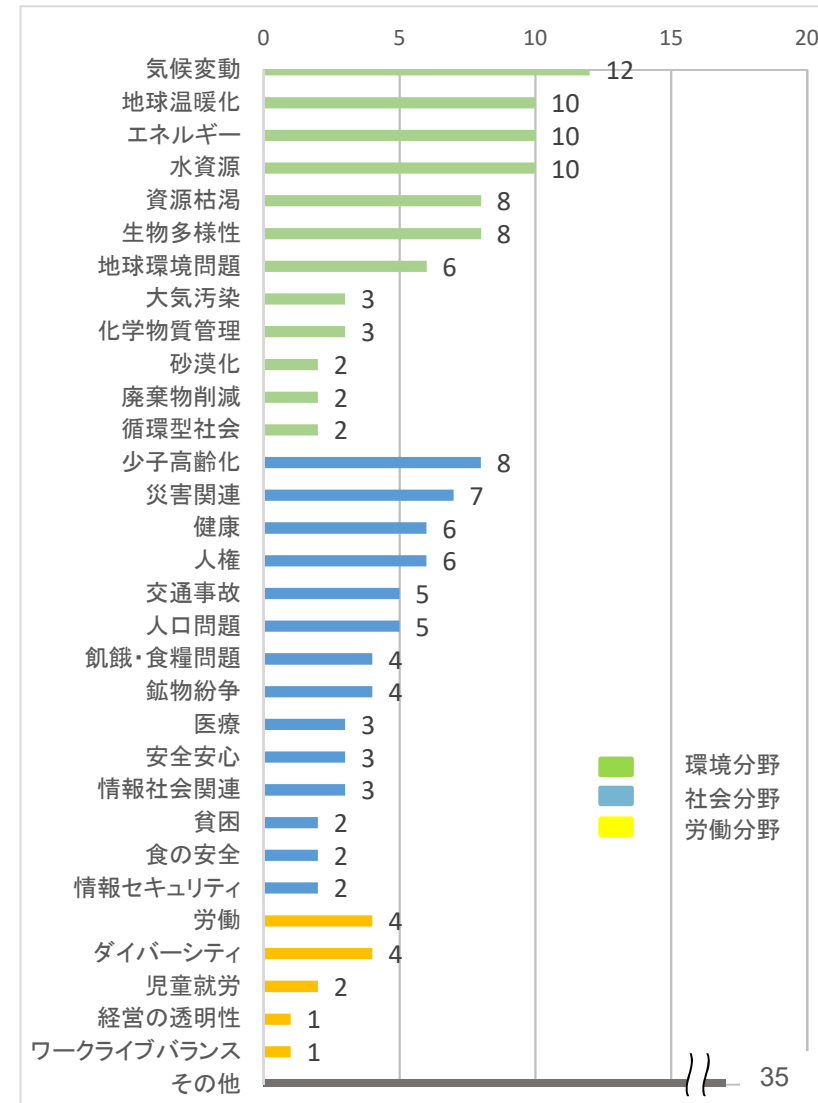
社会課題 アプローチページ (N=30)MA



社会課題ランキング -分野別

- 報告書で扱われている社会課題を分野別にみると、環境分野においては「気候変動(12社)」がトップ。次いで「地球温暖化」「エネルギー」「水資源」がともに10社となっています。
- 社会分野においては「少子高齢化(8社)」に続き「災害関連(7社)」が多くみられます。
- 上記2分野より数は少なくなりますが、労働分野では、「労働(全般)」と「ダイバーシティ」が4社と多く取り上げられています。

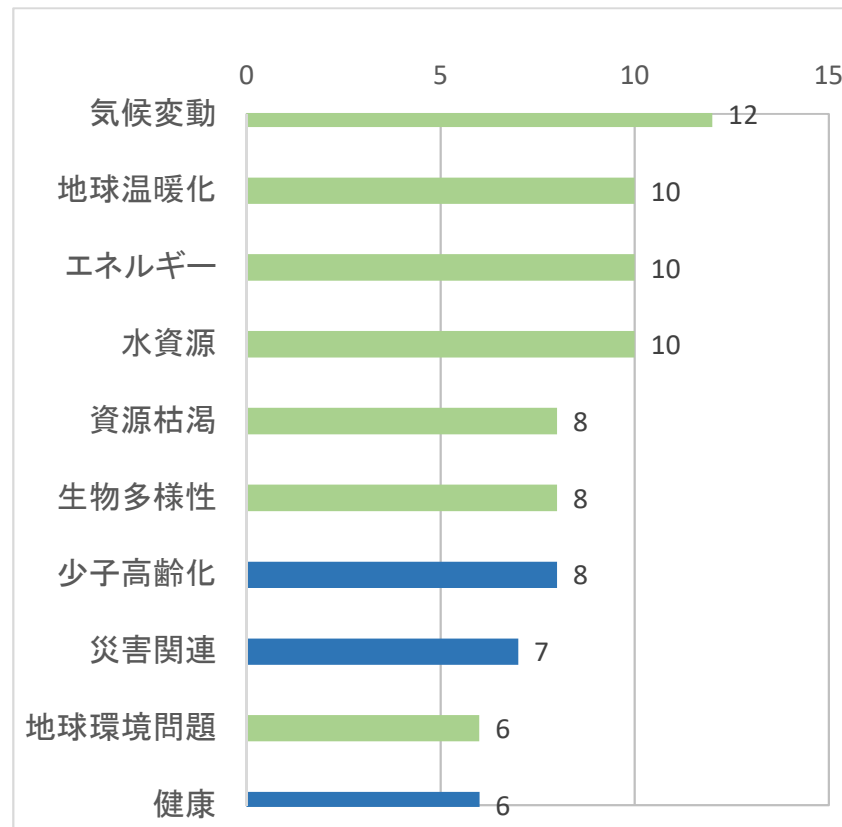
社会課題取り扱い分野 (N=30)MA



社会課題ランキング -全体

- 報告書で扱われる社会課題をランキングにすると、環境分野が上位を占め、社会分野が続きます。


社会課題ランキング (N=30)MA



対象企業一覧

- 第9回 東京経済新聞社 CSRランキング(2015)の上位30社

ランク	企業名	レポート名
1	富士フイルムホールディングス	サステナビリティレポート 2015
2	NTTドコモ	サステナビリティレポート 2015
3	デンソー	CSRレポート2015
4	富士ゼロックス	サステナビリティレポート 2015
5	日産自動車	サステナビリティレポート 2015
6	コマツ	CSRダイジェスト2015
7	キヤノン	サステナビリティレポート 2015
8	トヨタ自動車	Sustainability Report 2015
9	ブリヂストン	CSRレポート2015[ダイジェスト]
10	リコー	サステナビリティレポート 2015
11	味の素	サステナビリティレポート 2015[ダイジェスト版]
12	NEC	CSRレポート2015
13	ダイキン工業	CSR報告書2015
14	東芝	CSRレポート2015
15	KDDI	統合レポート(アニュアルレポート)2015
16	アサヒグループホールディングス	統合報告書2014
17	JT	サステナビリティレポート 2014
18	ホンダ	Sustainability Report 2015
19	旭硝子	AGCLレポート2015
20	アステラス製薬	アニュアルレポート2015
21	日本電信電話	サステナビリティレポート2015
22	ソニー	CSRレポート2015
23	信越化学工業	環境・社会報告書2015
24	国際石油開発帝石	アニュアルレポート2015[ダイジェスト版]
25	アイシン精機	アイシングループレポート 2015
25	東レ	CSRレポート2015
27	花王	サステナビリティレポート 2015 ハイライト
28	三菱電機	CSRレポート2015
29	武田製薬工業	アニュアルレポート2015
30	セブン&アイ・ホールディングス	CSRコミュニケーションレポート 2015



お読みいただき、ありがとうございました。

[本発表内容についてのお問い合わせ先]

高橋 里絵

株式会社アイデアシップ / ideaship

〒266-0005 千葉県千葉市緑区誉田町2-11

Tel: 043-309-7509 Fax: 043-309-7524

Email: riet@ideaship.info

※ご回答には少々お時間をいただく場合がございます。
予めご了承いただければ幸いです。